

教育セミナー

「もし学校の先生がスーパーバイザーと出会ったら～教育研究団体の活性化～」実施報告

- 期 日 平成24年2月18日（土）
- 場 所 倉吉体育文化会館 小研修室1
- 参加人数 23名
- 日程及び内容

時 間	内 容	講師・指導助言者
10:00～10:10	開会・スーパーバイザー事業概要説明	県教育センター 指導主事 笠見 隆志
10:10～10:40	研究発表 「国語部会活性化の取り組み」	北栄町立大栄中学校 校 長 鳥山 秀穂 (倉吉市・東伯郡中学校教育振興会 国語部会 部長校長)
10:50～11:50	指導助言 「ドラッカーのマネジメントから考える教育研究団体の活動」	県教育センター 指導主事 笠見 隆志 兵庫教育大学 教 授 浅野 良一
11:50～12:00	まとめ・閉会	



○ 参加者の感想より

- ・日頃、他地域の取り組みに触れる機会がほとんどないため、「勉強させていただこう。」という気持ちでお邪魔しました。浅野先生のお話は大変興味深く、また楽しくもありました。「顧客は誰か。」という問いかけは新鮮に感じましたが、お話を伺っていくうちに、教育についての見方が変わったように思います。
- ・もう一度学校としての顧客、そしてニーズを整理してみたいと思います。また、先生方のよさ（強み）も見つけ出し、うまく学校運営の中にかみ合わせ、活かしていく意識を持ちたいと思いました。
- ・中学校での取り組みは実社会との結びつきが強く、かつ、教職員の負担になりすぎない取り組みで大変興味深く聞かせていただきました。浅野先生の「マネジメント」についてのお話は「マネジメント」が非常に身近なものだと分かり、驚きました。「マネジメント」は会社経営や、管理職の先生方にとってのみ有用だと思っていたので、正直「自分にも役立つ」ものとは思っていませんでした。
- ・わが校はやらされ感が強く、職員が意欲を失いかけています。いいところ、弱いところ両方をあわせもつ職員一人一人です。職員が生き生きと、今日もやるぞー、つまり「面白がって」物事をやる空気をぜひ戻したいと思います。浅野先生の講義、笠見先生、鳥山校長先生の実践発表で分かったことを、今日家でもう一度整理し、組織づくりをやりたいと思います。
- ・教員としてだけでなく、自分が所属するもの全てにおいて今日の見方でとらえ直してみると、もっと人生を充実させることができると感じました。興味深い話が聞けてよかったです。国語科というのは重要視されている教科である。その教科そのものが強みであるという考えにとっても納得しました。
- ・いろいろ条件が違い難しさもあるが、面白がってやるということが大切だと思った。どうしても人の欠点に目が向きがちで、良さを引き出すための働きかけの大切さは理解しているつもりだが、実践化するのにはむずかしいと感じている。